

平成27年度市政懇談会記録調書

対象地区	阿字ヶ浦中学区
日時	平成27年6月28日(日)午後4時00分～午後6時00分
場所	阿字ヶ浦転作推進センター
参加人数	23名

内 容 (要旨, 発言, 集約事項等)

事前質問

1. グラウンドゴルフ用のグラウンド用地について (都市整備部)
2. 県道磯崎港線の歩道未整備部分の整備について (建設部)
3. 区画整理事業地内の管理について (都市整備部)
4. 阿字ヶ浦駅の自転車置き場について (企画部)
5. 公民館の地域運営について (市民生活部)
6. 小中一貫校に関する, 検討状況と今後の見通しについて (教育委員会)

懇談質問

1. 神敷台ロケット公園整備について (都市整備部)
2. 小中一貫校について (教育委員会)
3. 待機児童について (福祉部)
4. 区画整理事業について (都市整備部)
5. 自治会の加入状況及び活性化について (市民生活部)
6. 区画整理地内の優良住宅について (都市整備部)

◇事前質問1（グラウンドゴルフ用のグラウンド用地について）

高齢者クラブ「浜友会」は、100名に余る会員を擁し様々な活動をしている。特にグラウンドゴルフは人気で、熱心に練習に励む会員の親睦を深めると共に、会員の介護予防に大いに貢献している。ただ、残念なことに現在使用している練習場（掘出神社駐車場）は、スペースが充分でなくロングホールがとれない等不自由である。

阿字ヶ浦区画整理地内にある、児童公園用地の敷設工事が始まるまで借用をお願いしたい。出来れば整地・芝生整備も希望する。

■都市整備部長

お話しのありました用地は、阿字ヶ浦土地区画整理事業により5,000㎡の児童公園等として計画されている用地でありまして、現在は、用地の一部を区画整理事業の仮設住宅地とし、残りの約3,800㎡の用地について草刈等の管理を行っているところです。

ご承知の通り、阿字ヶ浦土地区画整理事業につきましては、現在事業の見直し作業を進めており、街区公園につきましても位置や面積を含め見直しの対象としているところです。

見直し作業につきましては、湊線の延伸構想との調整が必要であり、また、地区の地権者の方のご理解を得ながら進めなければなりませんので、その間につきましては、自治会からのご要望であるグラウンドゴルフ用の用地としてお貸しすることは可能かと考えます。ただ、事業の都合上、数年で利用を中止していただく可能性もありますのでご理解いただきたいと存じます。整地や芝生の整備につきましては、事業の見直し中ということもあり困難と考えますが、現況はそれほど不整地ではありませんので大きく手を入れなければならないことはないのかと考えております。

いずれにいたしましても、今後、事業を所管しております那珂湊地区土地区画整理事務所とよく調整していただきたいと存じます。

◇事前質問2（県道磯崎港線の歩道未整備部分の整備について）

昨年整備をお願いしたところ、「県へ移管の要請をし、移管されれば早急に歩道整備をする」と伺いましたが、整備時期はいつごろになるのか。

■建設部長

ご指摘の県道磯崎と市道1-16号線につきましては、市への移管を前提に大宮土木事務所で歩道を含めた整備を進めてきた経緯がございます。

市といたしましては、昨年度も早期に市へ移管できるよう大宮土木事務所へ要請してまいりましたが、未だ具体的な進展にはいたっておりません。

平成27年5月18日も、大宮土木事務所に出向き、早期に市へ移管されるよう事務を急ぐように要請してまいりました。

大宮土木事務所からは、本庁道路維持課と県道を部分的に移管することで協議を行

ってまいりますとの回答をいただきました。

今後は、本庁との協議が済み次第、市と移管の協議をしていくこととなります。市へ移管され次第、歩道及び側溝の未整備部分について、整備を実施してまいります。

◇事前質問3（区画整理事業地内の管理について）

昨年度、地内の廃屋について対策をお願いしたところ、速やかに対処頂き綺麗になったが、今度は、隣の空き地が目立つようになり、大きな鉄板を組んだ塀が一部剥がれ落ちて危険なため対処願いたい。

■都市整備部長

ご指摘の工作物は、区画整理区域の北東に位置し、県道常陸海浜公園線に通じる道路沿いにある当時民間の工事事務所の出入り口の柵として設置された鉄板の一部で、現在は、区画整理事業用地として市が管理している用地内の工作物でありますので、5月28日付けで鉄板の撤去をいたしました。

今後、地区内で何か問題があるような場合は、那珂湊地区土地区画整理事務所が所管しておりますのでご連絡いただくようよろしく願います。また、ご指摘の箇所以外にも市が管理している事業用地がありますので、適正な維持管理に努めさせていただきます。

◇事前質問4（阿字ヶ浦駅の自転車置き場について）

海浜鉄道阿字ヶ浦駅には、通学の高校生を中心に10台程の自転車が置かれているので、雨よけの屋根の設置をお願いしたい。

■企画部長

阿字ヶ浦中学校区の皆さまをはじめ、おらが湊鐵道応援団の皆さま、さらには沿線地域の皆さまには、日頃より湊線の利用促進活動や阿字ヶ浦駅の環境美化活動などを継続的に取り組んでいただいていることに対しまして、深くお礼を申し上げます。

平成26年度の湊線利用者は、新会社発足以降最高でありました平成25年度をさらに大きく上回り、93万9,644人もの方にご利用いただきました。海浜鉄道のイベントや特に、通勤・通学定期の利用者数が2年続けて伸びており、沿線にお住まいの皆さまが、日常的に湊線をご利用いただいているお陰であると、改めて感謝申し上げます。

さて、阿字ヶ浦駅の施設整備につきましては、これまでも湊鐵道線振興基金を活用しまして、平成20年度にトイレの整備、平成24年度に駅舎全体の改修工事を行い、安全で快適な駅施設の環境整備に努めてきたところでございます。

ご要望のありました屋根付きの自転車置き場の設置につきましては、事前質問を頂戴してから早速検討し、海浜鉄道にも要請いたしまして、先週24日に、屋外の屋根がある待合所の線路側に設置してありましたベンチを駅広側に移動するなど、約10

台分の駐輪スペースを確保いたしました。今後も地域の皆さまが快適に湊線をご利用いただけるよう環境整備に努めてまいりたいと思います。

◇事前質問5（公民館の地域運営について）

公民館の地域運営という状況の中で、現在、阿字ヶ浦町は平磯町と一緒にしているが、平磯町とは別に阿字ヶ浦町民のつどいの場を提供してほしい。

阿字ヶ浦町の区画整理などで整地協力もしているので、区画整理の1画の提供など資金のやりくりや、国、県の補助で何とかならないのか。

ぜひ、実現にむけて明るい見通しを立ててほしい。

■市民生活部長

平磯コミュニティセンターにつきましては、平成25年4月から平中学区明るい地域づくりの会に管理運営を移管しておりますが、ご承知のとおり、管轄するエリア、いわゆる、ご利用いただいている地区は、移管前と変わることなく、平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区となっております。阿字ヶ浦地区の皆さまには、地理的な部分で、何かとご不便をお掛けしております。

この平磯学習センターにおいては、教養・趣味等の主催講座の開設をはじめ、生涯学習の拠点、地域コミュニティ、市民団体等の活動拠点として利用されております。

一方、阿字ヶ浦地区では、地域の活動拠点として、阿字ヶ浦転作推進センターをご活用いただいているところであります。

このような状況でありますことから、阿字ヶ浦地区の皆さまには、これまで同様、生涯学習活動の拠点としては、平磯コミュニティセンターをご利用いただき、地域のつどいの場としましては、阿字ヶ浦転作推進センターをご利用いただきたいと考えております。ご理解のほどよろしく願いいたします。

◇事前質問6（小中一貫校に関する、検討状況と今後の見通しについて）

阿字ヶ浦、磯崎、平磯地区における、小中校統廃合及び小中一貫校新設に関する現在の検討状況と、今後の見通しについて聞きたい。

■教育長

市教育委員会においては、平成24年2月に「ひたちなか市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針」を策定し、方針に基づき阿字ヶ浦、磯崎、平磯地区の各地区のコミュニティの役員の方やPTA役員の方と学校規模の適正化等について意見交換を行ってきたところです。

本年2月においては、平成26年に実施した「小・中学校適正規模・適正配置に関する保護者アンケート」の結果や3地区の児童生徒数の今後の推移を踏まえながら、小中一貫統合校を推進していく市の方針について説明を行い、概ね了承していただいたものと認識しております。

現在は、小中一貫統合校の新設について、立地場所や通学手段等につきまして都市

整備部を始めとした庁内関係部署からの意見を集約し検証しているところでございます。

また、6月24日に山形県の新庄市にあります小中一貫統合校、萩野学園を視察してまいりました。

視察においては、学園設立までの経緯について担当者から説明を受けるとともに、直接学園を見ることにより小中一貫統合校のイメージを造ることが出来たところでございます。

今後は、地域の代表等の方から出されたご意見を踏まえながら、3地区の状況を細かく分析するとともに、庁内関係部署との協議を重ね、統合校新設に向け取り組んで行きたいと考えております。

地域住民や保護者のご意見を伺いながら、小中一貫統合校について実現をしていきたいと考えておりますので、引き続き貴重なご意見をいただければ大変ありがたいと思っております。

司 会

それでは、これより懇談に入ります。

本懇談会を実り多いものとするために、多くの方よりご発言をいただきたいと思えます。質問やご意見を簡潔に1件ずつお話しただけですと円滑な進行ができるかと思えます。ご意見、ご質問がございましたら、挙手をお願いいたします。

◇事前質問1・6 関連

グラウンドゴルフ用地についてとコミュニティの地域運営についてお聞きします。

この阿字ヶ浦・平磯中学区は非常に高齢化率が高い地域だと思います。

現在、市のデータを見ますと65歳以上の方の30パーセントがこの阿字ヶ浦中学区で非常に高い高齢化率となっています。この高齢化率の高い地域に、高齢の方が楽しめる施設というのは必ず必要であって楽しみにしているというのは事実です。

また、しあわせプラン21第6期を拝見させていただきました。このデータの中に老研式活動能力指標というのがありました。この中でも平磯・阿字ヶ浦中学校区域は非常に一番低くなっているのが現状です。こういったデータが出ている中で、やはりこの阿字ヶ浦の地域をご年齢の高い方が楽しめるような施設を市として率先して作って欲しいというのが切なる願いです。

また、学校に関してですが、小中一貫校が実現に向かっていると思えます。こちらの平磯・阿中中学区は現在、生徒数が全部で570名くらいです。ひたちなか市の全生徒が14,000人程度だと思います。約2.5パーセントの子ども達を1つの新しい学校に集めて生徒数を増やす施策、また、学区外を無くして魅力ある学校にするために、何か新しいというか思い切ったことをやらないと中々2.5パーセントの生徒を1つの

学校に集めても、10年後にはあと100人減る予想が教育委員会から出ています。約450名位になってしまい、やはりひたちなか市では一番小さな学校になってしまいました。そういった実現に向かい前向きに検討していただきたいと思います。

■都市整備部長

ご質問の趣旨は、きちんと作りあげて欲しいという趣旨かと思いますが、先ほども申し上げたとおり、海浜鉄道の延伸も含めて現在検討中でございます。区画整理事業につきましては、家屋移転にもものすごくお金が掛かるということで、現道を中心に見直しをして、移転コストを減らし、そういう中で早期の完了を目指すと考えています。そうした中で、公園用地・位置についても、変更になる可能性がございます。恒久的に間違いなく公園になるということでなければ整備することはできません。しかし、土地は空いておりますので、そこは共同事業と言いますか、皆さまで整地して使っていただくことは可能かと思っております。

また、那珂湊の区画整理事務所でも本格的なことは難しいですが、お手伝いできる部分があればお手伝いさせていただきますので、事務所と相談・調整していただいてご利用いただければよろしいかなと思っております。

なお、そこだけに限らず、ここ20年くらいで財政も苦しくなっていました。どうしても社会保障関連経費が伸びていまして、将来に備えなければならない。それから子ども達の命に係わる学校の耐震化を進めております。このような関係から、公園緑地課では、その他の区画整理より生み出された公園用地が40箇所ほどございます。それが整備できないので、供用できていないという状況でございます。それも年次的に対応していかなければならないと考えているところでございます。そういう状況を踏まえてご理解いただければと思います。

■教育長

小中一貫教育というのは、どういう学校なのだろうかということで、これまでなかった学校でございますので期待と不安があるかと思っております。私共も小学校は小学校、中学校は中学校という制度の中で指導し、子ども達の教育に当たってきましたが、これからの教育は9年間という長期のスパンの中で継続的、また、学びをとおして豊かな感性と知性を育み、自立した人にノミネートして力強く生きていくための総合的な力を身に着けた児童生徒を育成したいという教育理念を持っておりまして、その中で育みたいのは、目に見える力と目に見えない力というのはあると思うのです。目に見える力は誰にでもわかりますが、目に見えない力は私達、教育に当たっておりますと感じます。それはどんな力かと申しますと、子ども達同士、また、同級生同士といった関わりの中から生まれてくる切磋琢磨の中から生まれてくる社会力、これはなかなか見えにくいのです。そこは大人が、切磋琢磨が足りないから脇から補おうといういろいろな努力はしますが、やはりそこは人数がいらないと育てきれない部分がある訳で、小中

一貫校が立ち上がってきたのかなと思います。

先日、4月に開校した山形県の小中一貫校を見てまいりましたが、その学校は小学校3校と中学校1校が統合されたかたちになります。それぞれの地域の思いがありまして、その思いを重ねて統合校が開校したという経過を聞かせていただきまして、やはり、地域の方々の期待や思いとか、そういったものが凝縮されているなという思いをしてまいりました。もう1つは施設面のことですが、これまでは校舎というのは横に長い学校が多かった訳ですが、小中一貫校を計画すると小学生と中学生と一緒に過ごす訳ですので、新たな施設を考えていかなければならない。私は視察して、第一に廊下が広い、これに感動いたしました。それから、子ども達のフリースペースが学年ごとにあり、中学校ですと国語のための部屋とか、社会の指導の部屋とか、特別についていないところが多いのですが、そういった新たな教室というのがございました。その他に沢山の今までの発想の中にはない施設もございました。情報等を皆さま方にご紹介しながらこれからの新しい統廃合に向けての学校の姿を描いていきたいと考えております。また、お聞きになりたいことがあればご質問いただければと思います。

◇事前質問6

小中一貫校・統廃合の件は、自治会として態度表明してきませんでしたでしたが、事情を話しておきますと、昨年度末に組長が全体で集まった席と今年度の総会時に、市の方針は説明させていただきました。

更に、6月の初旬に回覧でチラシをいただきまして、わかるように回しました。どうしても、思い出のある学び舎が消えていくということで、惜しい声がありますが、私もどちらかというと急ぐことはないのではないかとありますが、総合的に考えまして、全体としては統合やむなしという方向で進んで行っているのかなと。そろそろ具体的に入る時期なのかと考えております。そんな中で、前から提案があります阿字ヶ浦区画整理地区に学校用地がありますが、そこを敷地として考えるという提案をしておきたいと思います。

それから、グラウンドゴルフの件で、使用できる可能性があるということでありがとうございます。使えるかどうかはグラウンドゴルフをやっている人に相談していただければと思います。阿字ヶ浦には子ども達が遊ぶような公園がありません。お母さんが子どもと行って、ブランコや滑り台ができる身近な公園がないものですから、見直し中の区画整理、児童公園も見直しの対象になっているということですが、できるだけ現在の状況で一部残していただいて、できれば前倒しで整備していただいてグラウンドゴルフもできるようなかたちでやっていただくという希望を申し上げます。

それから、道路の整備の件ですが、これまで何件か、何年も前から未舗装道路の申請が出ていると思いますが、震災のために滞って進んでいないと思いますが、今後、道路の計画予定があればお聞きしたいのですが、平成24年度に201号線、241号線、242号線の3件出して、その前に182号線、244号線の2件出していますが、今後の

整備の計画が教えていただければと思います。よろしくお願いします。

■建設部長

道路改良の要望は、現在 180 件以上の要望が来ています。その中から優先順位を決めて整備していく訳ですが、優先順位は地元の要望の中で緊急性や重要性、特に安全性に関わるものから実施していますが、震災の影響で遅れているということで、本年度につきましては、道路整備費も 1 億 1000 万から増額しまして、その整備については先ほど申し上げたように優先順位を決めてやっています。要望のあった箇所については後ほど連絡いたします。

◇懇談質問 1（神敷台ロケット公園整備について）

阿字ヶ浦ではないのですが、湊のセイブの脇にあるロケット公園の遊具が危険という張り紙が貼ってあったり、別の公園ではシートが被ってあるところがありますが、ロケット公園は、中学生が上で食べ物を食べたりというのを近くの小学生が見ていました。危ないから早く直した方がいいと思います。

それから、中学生がスカシユリの研究をやる関係上、阿字ヶ浦中学区では、その応援をしているというかたちで、去年は咲いたユリが盗られるということで看板を建てましたが、その時に階段を付けて、遊歩道等を整備したいと言いましたが、教育委員会では階段はダメだと言われましたが、やはり花が咲けば入ってみたいという方がいますので、整備は阿字ヶ浦中学区と中学生がやりますので、許可して欲しいと思っております。

■都市整備部長

公園関係の遊具やフェンス、照明灯やトイレ等につきましては、公園長寿命化計画で、全体の傷み具合をチェックし、計画を立てて対応させていただいているところです。シートが被ってあるところは問題がある遊具で、危ないのでそういった対応をしています。シートが被ってある遊具は存じませんが、確認し後日対応いたします。

■教育長

ロケット公園のお話のなかで、中学生は問題行動があると思いますので、関係学校等に連絡して指導に当たらせたいと思います。それから、スカシユリの保護育成で、全国的にみても阿字ヶ浦中学校は大変素晴らしい実践を残しているのです、支援していかなければならない貴重な実践だと思えます。環境フォーラムで阿字ヶ浦中が表された時も、看板を建てることで教育委員会と行き違いがあったとのお話を聞いておりますので、困りごとについて、もう一度再度、把握させていただきませう。申し訳ございませんが、よろしくお願いします。

◇懇談質問 2（小中一貫校について）

学校の件について、質問とお願いということで、話をさせていただきたいと思いま

す。これから、新たな設置について、意見を調整されている小中一貫校についてですが、やはり新しい学校に限らずとは思いますが、中学生も小学生も通うので、安心安全が重要かと思っています。特に問題があるのは、どこにその学校ができるかということ。いろいろなご意見があると思いますが、設置場所につきましては、安心安全で地域の目がどれだけあるかということは非常に重要だと思います。今年の2月に集まりをさせていただいた時、今後の児童生徒数の見通しの数字をいただきました。平成32年くらいまでのシミュレーションで、やはり子ども達の数が減っていくとなっています。1学年を35人との捉え方をしますと、シミュレーションで見ても平成34、35年になると、せつかく2クラスずつ設けるはずが、また1クラスになってしまうというかたちになってくのかなと。ですから、単純に足し算だけでは、子どもの数は維持できないですし、減っていく状況で、新しくできる学校の発展性、どうやって子ども達を増やしていくことも大きな課題になっていくかと思っています。それもどこに設置されるかということも非常に重要になってくると思います。市長のお話しにもありましたが、阿字ヶ浦区画整理事業の中身を改めてご検討していくなかで、地域としての魅力付けも必要でしょうし、その一部として海浜鉄道の延伸も出てくると思います。阿字ヶ浦区画整理事業は、背後にひたちなか地区を抱えておりますので非常に発展性のあり、市としてこれからも期待できるのかなと。そういうところに理想的な学校を持ってくるというのは必然ではないかと私は思っております。3地区の間を取ればといったような心情論などあると思いますが、客観的に、効率性を持って考えていただければなと思っております。現在、内部で意見調整中で、その後、地元と協議を持ってくれるということですが、地元との協議が大体いつになるのか。今年度中なのか、来年度に掛かってしまうのか、その辺の見通しをお聞かせいただきたいのと、先ほど、山形県の先進地事例を視察に行かれて、地域の想いが重なって新しい学校ができた。地域の想い、阿字ヶ浦の想い、磯崎の想い、平磯の想いがあると思いますが、それらの地域の想いを重ね合わせられるような協議の場になってくるのか。その辺を併せてお聞かせいただければと思います。最後は要望ですが施設整備、特に学校の基本設計を進めるに当たりまして、我々地域の意見や要望も是非聞いて下さい。地域の人達には、新しい学校にはこういった機能・こういったイメージがある学校と思うのです。是非、意見を聞いてくれる場を協議の中で持ってくれればと思います。よろしく願いします。

■教育長

新たな学校を設立する場合は、お話しをいただいたように、安全安心という観点から十分に検討するということが一番大事なことだと思います。今、交通事情も非常に危険なところが増えてきているといったことも十分に考慮しなければなりません。また、通学路等については、場所を決めた時に、どのようにして子ども達が安全に通って来られるかといった検討も優遇してまいりたいと思います。地域の目が届くという

システムも十分に考慮していきたいと思います。また、この学校ができることで、人が集まってくるといったことを頭に置いて、新たな学校を設立したいと私も思っております。

先日、行きました山形の小中一貫校も、お話しを聞いてみますと、地域それぞれの想いを重ねあわせて作りあげた学校だと説明を受けてまいりました。入り口を入りますと、ショーケースがありまして、それぞれの学校の想いを込めてここに置いたと。記念の品等も置かれておりまして、ここまで至るまでには様々なそうした協議を経て、出来上がった感じがいたしました。私共も、一方的にこれが市の案ですから、すべてこれに沿って行きますというようなことではなくて、様々な案を提示しながら皆さまと共に作り上げる学校でいきたいと思っています。そうしないと開校しても、地域に支えていただける学校にはならないと思いますので、先ほど申し上げたような構えを持って臨んで行きたいと思っています。また、皆さまにご説明をしますのでよろしくお願ひします。

◇懇談質問3（待機児童について）

子どもを育てるためには、安心して預けることができる保育所の市内の待機児童の数はどのくらいですか。また、共働きが入所の条件となっていますが、入所前に共働きというのは難しいと思うのです。必ずしも実際に勤めていなくても、予定があるとか融通の利く対応をお願いします。

■福祉部長

待機児童につきましては、毎年4月からの入所において申し込みをしていただいて、保育所に入っていただくかたちで、児童福祉課で調整をしております。当初は、数十名くらい入れない方がおりますが、入所調整をするなかで、ご自分の希望する保育所に入りたいという方が多いのです。そういったなかで、市としましては他の保育所に入れますからこちらの保育所へのお話しをしますが、そこであればいいですみたいなかたちで、結局そういう意味での待機はいなくなってしまうので、本市としましては、現在のところ待機児童はいないというかたちになっております。共働きの件は、働く予定があれば保育所入所の対象になります。

◇懇談質問4（区画整理事業について）

阿字ヶ浦の区画整理事業ですが、資料の今年度の区画整理事業の中では約9,700万と書いてありますが、市報の特別会計の数字を見ると阿字ヶ浦土地区画整理事業が5億6,000万となっていますがどちらが正解、あるいはどこにこの差があるのか教えてもらってもよいでしょうか。

■都市整備部長

市報にお示ししてあるこちらの数字は、今年度実際にを行う事業の内容が掛かれて

おります。その他には借金の返済等、そういったものが特別会計のなかに出てまいりますので、実際に当たる職員の人件費等も含まれてまいりますので、そこは乖離が生じるところでございます。

◇懇談質問5（自治会の加入状況及び活性化について）

自治会の加盟者が減っており、阿字ヶ浦自治会でもアパートが11棟建っていますが、そういった11棟のアパートの住民が自治会に入っていないということで、特に阿字ヶ浦は過疎化が進んでいるので、自治会の高齢化を含めて加盟する人が減っている。ひたちなか全体で、自治会の加入状況は今後どのような加入させる方法を何かやられていれば教えていただきたい。

◇懇談質問6（区画整理地内の優良住宅について）

区画整理で、例えば長期優良住宅というのは、区画整理ですと対象にならないと。3.11以降は家が壊れて建て替える方とか、家を直す方とかいると思いますが、一生に一度、家を建てるとは思いますが、そういった状況で、区画整理が進まないと長期優良住宅の対象にならないといった問題も含めて、地域全体の転入者を増やしていかないとこの地域は難しいと思いますので、人口増の対策があれば教えていただきたい。よろしくをお願いします。

■市民生活部長

自治会の加入の件は、今回の市政懇談会でどこの地区からも出ています。ひたちなか市だけではなく、全国的な課題であることは間違いないというところで、中々この打開策というのは、任意団体であるので強制はできないという大原則がありますから、そういった状況であるのは間違いないです。

市で行っているのは、啓蒙啓発ということでパンフレット、ホームページ等でのお知らせや自治会連合会と一緒に協業をしています。こういった実態は、前から問題になっていますので、何らかの方法で手を打たなければならないとは思っているところですが、非常に大きな課題だと思っています。

今後、自治会の在り方について勉強する機会がありますので、画期的な案などを出していきたいと思っています。

■都市整備部長

地域振興策については、現段階で、阿字ヶ浦はこれだとすぐにお示しするものはありませんが、その他にも県道水戸・那珂湊線、平磯から阿字ヶ浦に至る海岸道路ですね。そちらにつきましては、地元の方にも入っていただいて、いろいろ協議を重ねる中で、今年度、大宮土木事務所で基本的な測量等をして、道路のアウトラインを固めていくということで、県はその後の詳細な設計をしなければなりません。設計後は、

着手して以降 10 年位は海岸線を整備していくと聞いております。そういうものが固まってくれば、平磯の方の観光施設、足湯やサイクリングロード等を整備していただきたいという要望でしたが、今の段階では、そこまで突っ込んでお答えできることはありません。

今後、地元と市と県と一緒に、どういったものを造れば観光や地域にとっていいものになるのか、沿線には用地取得をしていく中で残地が出る場合もありますし、市有地と接している部分もございますので、そういったところを活用しながら進めたいと思います。

平磯地区から海の駅という言葉も出ましたが、どういったものを造っていけばいいのかと、そういったことも含めて検討していきたいと考えているところでございます。

湊線の延伸も、この地域にお役に立っていくことと思います。それを含めての区画整理事業の見直しについて、頑張っ取組んで行きたいと思っているところでございます。長期優良住宅につきましては、確認してご連絡いたします。

司 会

最後に、懇談のまとめを市長より申し上げます。

■市 長

大変貴重なお時間をいただきまして、建設的かつ具体的なお提案やご質問をいただいたことを感謝申し上げます。なお、まとめと言いますか、私の考え方を含めて私なりのお答えや考え方を貴重な時間をいただきまして述べさせていただきます。

阿字ヶ浦の区画整理をやっていることを、やはり今後とも生かさなければいけないと思います。公園や公共施設を作るにしても、単純に公共事業として始めるとなると、逆に言えば大変なところがありますから、区画整理事業としての課題や難しさや財源的なやりくりの問題が当然ありますが、むしろ区画整理の網が被っているから、こういう土地が生み出せるといった利点を引出すような活用や計画の見直しを進めていくというのが、この時点に来ればそういうものではないかと思えます。児童公園や高齢者が使われるグラウンドについても、恒久的なものとしては、どう整備するかという計画としては居続けるわけでありますが、暫定的に活用、利用していただくということは十分出来ることでありますし、どの程度の手間を掛けてどの程度何年くらい持たすかということも協議をさせていただければ可能ではないかと思えます。市内で色々なケースがありますから、学校用地でも児童が減っていて学校を作る計画がない、事実上、利用の転換を図るような場所でも区画整理ではあります。暫定的に公園として使っているところも現実的にありますし、それを本格的な活用利用計画を造る際に、公園として残すのか、宅地に変えるのかなど実際に検討を進めているところもありますが、期間を切って暫定的に利用し、また、恒久的に児童公園とするなど、その辺の

意向は計画的に出来るのではないかなと思っております。

それから区画整理に関して期待や様々な思いも皆さんあると思います。人口がどれくらい増えるかということも、かなり冷静に考えなければいけないと思っております。アパートは先ほど11棟とお話がありましたが、自治会加入させていないということのようですけれど、市としては出来ればアパートやマンションなんかは大掛かりになりますけれど、建主や元々の地主さんなど自治会の加入をお願い出来ないかということで要請をしてきているところでもあります。ただご協力もいただけないケースも残念ながらあります。

そして学校統合の問題や小中一貫のことですが、おっしゃてることは非常にそのとおりだと思いますし、十年後、二十年後の子どもの数を単純に推計していけば、また一クラスになってしまうのではないかということも、残念ながら現実問題として考え検討していかなくていけないことだと思います。いずれにしてもどういう手段で通学するかということも議論しなければなりませんので、スクールバスなのか湊線なのか、場所によっては色々あると思います。場所を決めて、そこから遠い子ども達にはそこから交通手段を用意するということになりますから、お互い様ということが必ず出てくると思います。阿字ヶ浦の方々は阿字ヶ浦土地区画整理地内が一番いいとご主張されるわけでありますが、わかりますおしゃっている意味は、それで、三つをまとめるということが一つのハードルとしてやっていかなければならないことでもありますから、それぞれの提案をすり合わせていく作業が今から間違いなく出てくると思っています。なにがどう魅力的なのかということ、現実的な問題としてのすり合わせの兼ね合いの中で苦しむと思うのですね、ですから教育長が視察に行った学校は、いろんな思いがあり、碑まで建っているということですから相当だと思います。そういうハードルが高いものだとも認識しつつ、一つの手順や説明を尽くしながら、人のご意見を探るというようなことが出てくると思います。自治会長さんのお話を聞いていても、全体的には阿字ヶ浦だけの児童数では、学校の教育環境としてはやはり課題があまりにも大きいという認識で、学校が無くなる事の残念さ無念さはどこもおありだと思いますし、そういう地域の方々、保護者の方々の底辺に流れている思いをお聞きしますと、これはしっかり取り組まなければいけないと思います。ただ小中一貫については、教育内容問題として十分中身も検討する必要があると思います。かたちだけで小学校と中学校が一つの敷地の中だけにあって、全然カリキュラムなど小中一貫らしいことが機能していなければ小中一貫ではありませんので、そういうケースも無いとは言えないと聞いております。ですから皆さま方のイメージは、ここに小中一貫が出来て、ここに非常に素敵な魅力的な学校が出来れば、ここに住む人も増えるだろう、帰ってくる人も多だろうと、私もその通りだと思いますし、その思いを持って今後取り組んでいくということが非常に大切なことだと思いますので、そこはしっかりと受け止めさせていただきたいと思っております。

なぜ小中一貫が必要かとか、学校統合が必要かということをお私の方から改めて言う必要は無いという気になりましたのであえて申し上げませんが、実は市内でもこの地域よりも更に小規模学校が1校あります。私が聞いたところによると小学一年生の該当者が8人いて、確か入学した人が3人という学校があります。そうするとどこにいったのかというと、隣の学校だとか、地理的なことから言いますと水戸に通うとか、実際にそのようなことが生じて来ておまして、3人だと全部男の子なのか女の子なのか、1対2では可哀想だとか、そんなことが現実的に生じて来ているのも事実です。ですからこの場合は、三つを合わせることによってという議論が出来れば、これは一つのかたちになるのではないかと考えております。ですから単純に廃止するとか、そういう議論にならなくてすむようなケースであると思えますし、そのようにしていきたいと考えております。

私、行政改革や市の財政のことを考えて学校の統合を進めるなんて全く思ったことはありませんし、前にも申し上げたかもしれませんが、学校の先生の給料は県が払っており、ほとんど人事権も事実上は県が広域的に調整しています。そして学校施設を造り、様々な備品や土地を確保して学校そのものをハード的に造るとというのが市の仕事です。ですから、ちょっと学校教育についての体制が必ずしもすっきりしているとは言えないのですが、教員を各市町村単位で採用するという規模ではありませんし、そのような広域的な調整になっているわけですけど、そういう意味で広い視野からも、この教育というのは見ていかなければいけない所があるわけです。少人数の対応とか、障害を持っておられる方の入学も増えており、学校介助員というのも市の単独でかなりの人数を措置しております。少人数学級も、県の基準では最初は付きますが、その後は市に任せるというかたちになっておまして、市で実際問題として教員の負担とか介助員の負担もやっているという複雑な状況になっています。この世界は非常にいろんな事例や見解もありますし、いろんな蓄積もありますので、そういうものを踏まえながら、あるべき学校の姿というものを描いていけるのではないかと私は思っております。このところ3年位この話がありまして、徐々に解れているように感じます。いつまでというお話しが先ほどありましたが、スケジュールを限らなければならないのではないかと、もう具体的にお示ししてよいか悪いか必ず生じますから、そこにまず差し掛からなければいけない状況だと私は思います。教育長もそういうふうにおっしゃるとおっしゃると思いますが、その点については自覚的に今後、推進をさせていただきます。この案では飲めないとか、もっとこういうふうにした方がよいのではないかとすることは間違いなく出てくるはずですから、そういう具体的な中で、市町村で進めさせていただきたいと考えております。

今回の市政懇談会は、論点をかなり絞ってご質問やご提案をいただいたような気がいたしますが、先ほども道路の関係でお話しがありましたが、環境整備については区画整理とそれ以外のところと関係を踏まえながら、皆さまのご要望やご意見を整理し、

対応させていただきたいと思っております。お金がないからやりませんということは決して言うつもりはありませんので、そういう言い訳はほとんど通用しないと。何を優先して取り組むべきかという問題、それを皆さまにご理解をいただきながら仕事をするというのが最大の姿勢だと思っておりますので、これに懲りずに引き続きお願いしたいと思います。

どこの市政懇談会でも申し上げておりますが、今日、言い足りなかったこと、言えなかったことがおありの方もいらっしゃると思います。これが終わった後で各部長や各担当者もいますから、申し出ていただくか、明日にでも市役所におっしゃっていただきたいと思っております。行政に対してもご配慮いただきながらご意見をいただいたような気がしておりますが、皆さま方のそういうお気持ちを汲み取りながら進めてまいりたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いを申し上げたいと思っております。どうもありがとうございました。